

自分だけ、おめでたい年

株式会社榎戸木材店
会長 榎戸正人

新年早々おめでたくない話はマズイと、今年は波乱の年、「喧嘩の用意しよ」の年になりそうだと言う話題は除夜の鐘と共に煩惱と一緒に消えて欲しいと昨年の12月号に書きました。本当に消えてくれれば良いのですが、高市内閣の成長戦略が明らかになるにつれて円安、長期国債の金利高（国際価格は下落）、株価の急落と、トリプル安での年越しとなりそうです。

この原稿を書いているのは11月なのでトリプル安になるのかどうかは予想に過ぎませんが、サナエノミクスはアベノミクスよりも財政悪化を招きそうで、高市総理の政策によって国民は将来、「高い血」の代償を払うことになりそうです。補正予算は様々な支出を合わせて21兆3千億円になるようですが、本気で財政拡大をしていけば、おそらく30兆円くらいは必要になるでしょう。

増発した国債を無理に売ろうとすれば、高い金利を設定しなくてはなりません。それに連動してすべての金利は上がっていきますので、住宅ローンを組んでいる人は大変です。固定金利だけではなく変動金利のローンも遅れて上がりますから、住宅ローン難民が出る可能性は高いでしょう。やばい！暗い話になってしまった……

世界的に混乱の年になりそうですが、そんな悲観的なことはよそに、私個人は「おめでたい年」になります。昨年の12月に全国の書店で販売をした本が売ってくれればの話ですが……この原稿を書いているのは11月なのでまだ販売していませんし、売れると思っていることが「おめでたい」樂観的な人間の幸せなところで、世界が混乱しても死ぬわけではあるまいとボート生きていれば、チコちゃんに叱られることはあっても笑って生きていけます。

私の予想通りアメリカの景気が悪化すればニューヨーク市場の株価は大幅に値下がりし日本の株価も下がるでしょうが、日本にはアメリカの景気にあまり左右されない企業も少なからずありますので、立ち直るのはアメリカ市場よりも早いと思います。

日本の景気はアメリカほどには悪くならないとしても、問題は消費が盛り上がりないことです。お金がなくて物が買えない人は仕方ありませんが、中所得層以上の人たちはそこそこお金があり、預貯金は増え続けています。将来への不安から使わずに貯め込んでいるのですが、なんと全世帯の金融資産総額は2000兆円を越えて、さらに毎年増えています。アメリカ人はお金がなくても欲しいものは買う人たちで、これからその支払いに苦労するでしょうが、日本人は買わずに我慢して貯め込んでしまう……

高市内閣がやるべきことは、賃上げの継続と消費の拡大策です。これを推進する政策は頭を使えばいろいろありますので、私の著書を読んで今年を明るい、おめでたい年にして頂きたいと思います。くれぐれも海上自衛隊の船舶で、台湾などに寄り道をしないように。尖閣諸島にリゾートホテルを建設するのは大賛成ですが、星野リゾートも進出しないだろうなあ。中国が上陸して中国国旗を掲げる前に、せめて灯台くらいは建てて花火大会をやりたいですよね。そうなったら私も沖縄から寄り道して見に行きます。

